

新型コロナウイルス感染症対策に係る県内首長及び関係団体の決意

新型コロナウイルス感染症は、今、世界各地で猛威を振るっています。

こうした中、県では感染が拡大しないよう、これまで相談、検査、専門医療の提供などにしっかり取り組み、現在のところなんとか持ちこたえています。国内外の状況を鑑みますと、本県においても、あるとき突然爆発的に患者が急増（オーバーシュート）する事態に備えておく必要があります。

オーバーシュートが起こると、医療提供体制に過剰な負荷がかかり、適切な医療が提供できなくなることで、新型コロナウイルス感染症の患者だけでなく、他の医療提供体制にも大きな影響を与え、いわゆる「医療崩壊」を招くことになってしまいます。

なんとしてもこの事態は回避しなければなりません。

また、新型コロナウイルス感染症の治療に懸命に当たり、医療提供体制を支えている医療従事者やそのご家族がいわれのない偏見や差別などを受けて苦しんでいるという事実もあります。

こうした難局を乗り越え、県民のいのちを守るために、私たちは一体となって、神奈川県調整本部を設置し、次の点を共有しながら、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息に向けて、オール神奈川で闘う決意をここに表明します。

- 医療崩壊を絶対に防ぐために、中等症の患者を集中的に受け入れる「重点医療機関」の設定など新たな医療体制「神奈川モデル」の推進に向けて連携して取り組みます。
- 医療を支えている医療従事者やそのご家族を全力で応援します。

令和 2 年 3 月 27 日

神奈川県知事	黒岩	祐治
横浜市長	林	文子
川崎市長	福田	紀彦
相模原市長	本村	賢太郎
横須賀市長	上地	克明
藤沢市長	鈴木	恒夫
茅ヶ崎市長	佐藤	光
神奈川県市長会	会長	小林 常良
神奈川県町村会	会長	富田 幸宏
公益社団法人神奈川県医師会	会長	菊岡 正和
公益社団法人神奈川県病院協会	会長	新江 良一